

報道各位

新潟市市民病院事務局経営企画課

令和7年度新潟市病院事業決算について

令和7年度新潟市病院事業決算の概要を裏面のとおりお知らせします。

新潟市病院事業会計（※1）の令和7年度決算における純損益は、約10億円の赤字となり、前年比約6億円改善しました。

令和7年度は病床利用率が大幅に改善し、一人一日あたり診療単価も向上したため、入院収益が1割以上増加（※2）し、国の補正予算による支援などもあり収益は前年比約25億円増加しました。

一方で、薬品費なども増加したことやベースアップなどによる給与費の増加により費用は前年比約19億円増となりました。

この結果、令和6年度決算と比べて純損失が約6億円減少しました。

なお、年度末現預金等残高は約44億円で、令和8年度において運転資金の枯渇は生じない見込みです。

引き続き、新潟市民病院の医療を必要とする患者さんをこれまで以上に受け入れ、収支の改善を図っていきます。

※1 新潟市病院事業会計は新潟市民病院のみで構成

※2 平成22年度以来最高の増加率

お問合せ先

市民病院事務局経営企画課長 高橋

電話 025-281-5151(代表)

令和7年度 新潟市病院事業 決算状況（前年度比較）

○ 経営指標

区 分		令和7年度(a)	令和6年度(b)	増減(a-b)	増減率(c/b)
入院 (全病床)	病床利用率 %	85.5	80.3	5.2	6.4%
	延患者数 人	210,880	198,198	12,682	6.4%
	平均在院日数 日	10.9	11.2	△ 0.3	△2.7%
	新入院患者数/日 人	(過去最高) 48.4	44.7	3.7	8.3%
	入院単価(税込) 円	87,375	83,905	3,470	4.1%
外来	延患者数 人	239,081	238,657	424	0.2%
	患者数/日 人	988	982	6	0.6%
	外来単価(税込) 円	28,298	27,614	684	2.5%

一般652床+精神16床
+感染症8床=全676床

参考 一般病床利用率
令和6年度決算82.8%
令和7年度見込87.8%
前年比+5.0%

○ 損益計算書

(単位 億円)

科 目		令和7年度(a)	令和6年度(b)	増減(a-b)	増減率(c/b)	主な増減要因
収 益	事業収益 A	298.9	273.9	25.0	9.1%	
	医療収益	255.7	235.8	19.9	8.4%	
	うち入院	184.2	166.3	17.9	※ 10.8%	患者数・入院単価の増
	うち外来	67.6	65.9	1.7	2.7%	外来単価の増
	医療外収益	41.2	35.9	5.3	14.8%	
	うち補助金	3.8	0.6	3.2	582.4%	国補正+2.8
	負担金交付金	27.5	25.5	2.0	7.6%	光熱水費支援+1.6
	長期前受金戻入	7.2	6.2	1.0	15.1%	
特別利益	2.0	2.2	△ 0.2	△7.3%		
費 用	事業費用 B	309.3	289.9	19.4	6.7%	
	医療費用	292.4	272.5	19.9	7.3%	
	うち給与費	149.8	139.1	10.7	7.7%	人員増のほか給与改定+5.9
	うち材料費	89.1	81.6	7.5	9.1%	入院外来収益と連動
	うち経費	40.8	39.7	1.1	2.8%	委託料+1.3
	減価償却費	11.7	11.2	0.5	4.5%	
	医療外費用	16.4	17.2	△ 0.8	△4.6%	
	うち消費税	12.6	13.4	△ 0.8	△6.5%	
特別損失	0.5	0.2	0.3	176.1%		
当年度純損益 C=A-	△ 10.4	△ 16.0	5.6	△34.8%		
経常収支	△ 11.9	△ 17.9	6.0	△33.7%		

※ 入院収益は平成22年度以来最高の増加率

○ 年度末資金残高

(単位 億円)

科 目	令和7年度(a)	令和6年度(b)	増減(a-b)	増減率(c/b)
現預金・有価証券残高	43.9	52.9	△ 9.0	△17.0%